

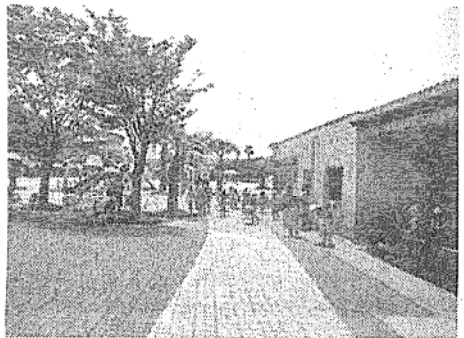
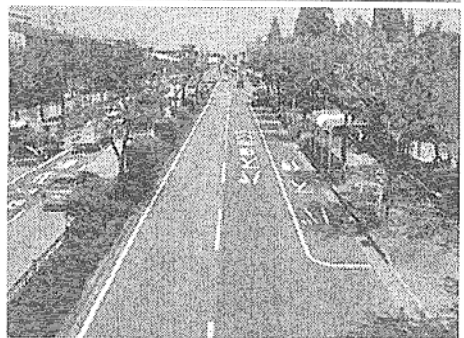
と物
装混合
舗性熱
径熱大

「活用促進技術」に

NIPPPO全国で普及活動

NIPPPOが保有する「遮熱性舗装」と「大粒径アスファルト混合物」の技術が、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）で有用な新技術として「活用促進技術」に認定された。活用効果の評価で安定性が確認された上、特定の性能や機能が著しく優れ、全国に普及することが有益と判断された。総合評価方式の入札や工事成績評定で加算対象となることから、同社は営業活動を強化し、採用の増加を目指す。

熱性舗装「パーフェクトクール」（登録名・クールパーピラス）は、路面に遮熱性塗料を塗布し、遮熱コート層を設けるアスファルト舗装。遮熱層が赤外線を反射すること、昼間の路面温度上昇を抑制し、夜間の放射熱を低減させる。騒音低減



機能と排水機能を両立でき、さらに熱によるアスファルトの軟化を抑制するため舗装の耐久性も向上する。

標準色として9色をラインアップし、公園・広場、歩道、プールサイド、

駐車場通路などさまざまな場所に適用可能。都心の施工に対応するため低臭型の遮熱塗料も実用

遮熱性舗装を施した道路①、スポーツ施設②。東京五輪のマラソンコースやスポーツ施設などにも営業強化

化しているが、低臭型の5分の1に臭いを抑えた「超低臭型」も開発済みだ。

施工実績は、02年の販売開始から累計で30万平方メートル。良好な品質・出来形、簡易な施工性、工期短縮、環境負荷低減などで高い評価を受け、今年2月にNETISの活用促進技術に認定された。

同社は認定を機に採用が増加するとみて営業活動を強化。2020年東京五輪のマラソンコース

やスポーツ関連施設などに採用を促すほか、都心だけでなく地方中核都市での認知度アップを図っていく方針だ。

大粒径アスファルト混合物は、最大粒径が25ミリを超える大きな粗骨材を使用したアスファルト混合物。大きな骨材のかみ合わせ効果によって荷重を支え、変形抵抗性や対流動性、耐摩耗性に優れるため重交通道路に適する。敷きならし厚が大きいので、高締め固め型アスファルトフィニッシューを使用した施工時間の短縮と早期の交通開放も可能だ。

1年間で約20件・3万平方メートルの施工実績を持つ。99年にNETIS登録され、今年2月に活用促進技術に認められた。

同社は現在、単独または共同で52件の技術がNETISに登録されている。このうち今回の2件を含めて7件が有用な新技術として評価を受けている。